

世界のベストチョイスをお届けする独立系半導体商社

富士エレクトロニクス株式会社

平成26年2月期 第2四半期 決算説明資料

平成25年10月7日

〒113-8444 東京都文京区本郷3-2-12 御茶の水センタービル

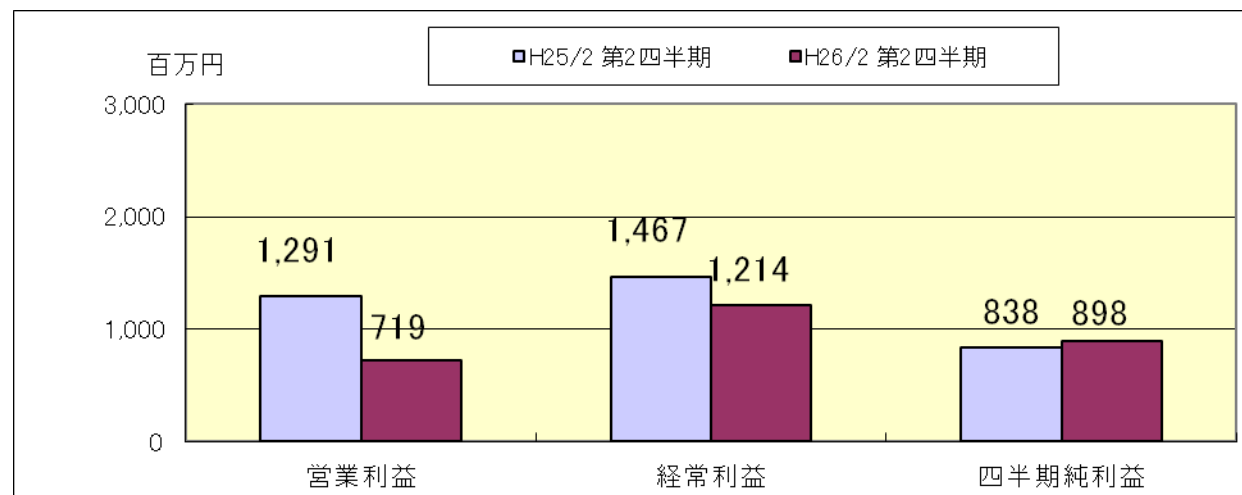
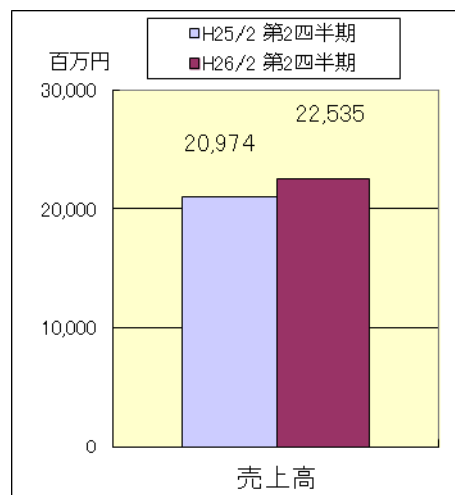
TEL 03-3814-1411(大代表) FAX 03-3814-1414

<http://www.fujiele.co.jp>

平成26年2月期 第2四半期累計業績（連結）

百万円

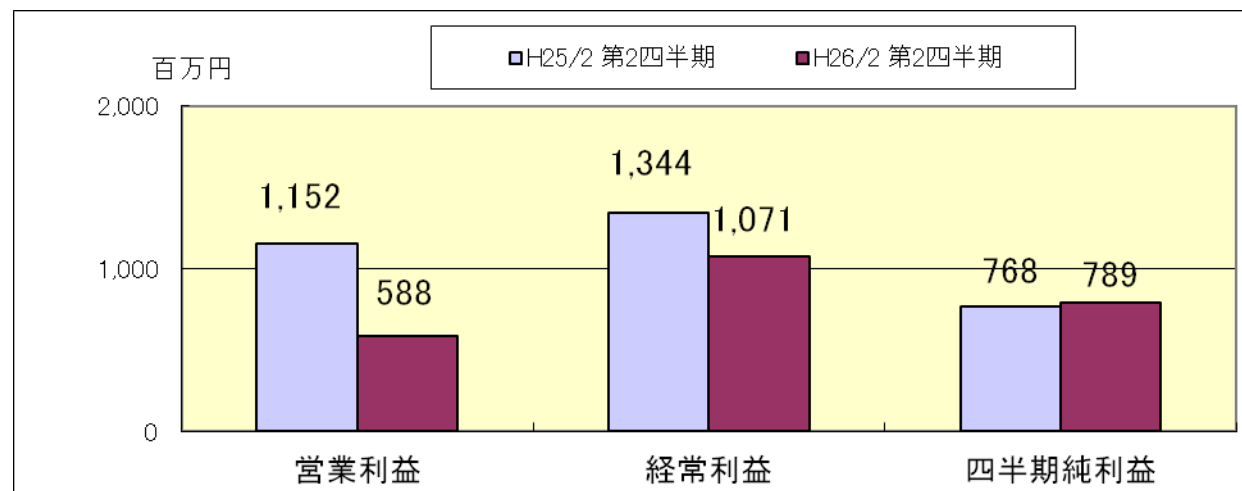
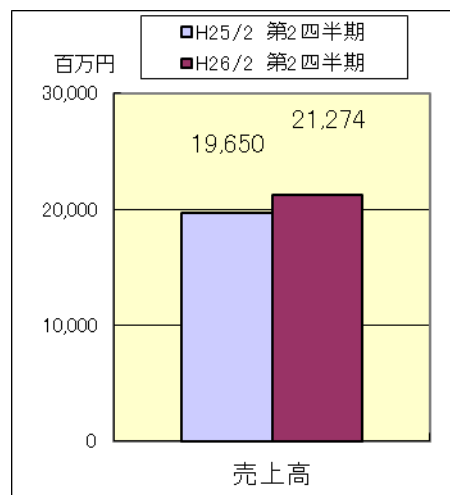
	平成25/2 第2四半期 実績	平成26/2 第2四半期 期初予想	同 実績 (9月25日修正値)	期初予想比 (%)	前期比 (%)
売上高	20,974	20,100	22,535	112.1	107.4
粗利率	18.8	18.6	15.4		
営業利益	1,291	1,080	719	66.7	55.8
経常利益	1,467	1,240	1,214	98.0	82.8
四半期純利益	838	800	898	112.3	107.1



平成26年2月期 第2四半期累計業績（単体）

百万円

	平成25/2 第2四半期 実績	平成26/2 第2四半期 期初予想	同 実績 (9月25日修正値)	期初予想比 (%)	前期比 (%)
売上高	19,650	18,600	21,274	114.4	108.3
粗利率	17.5	16.8	13.8		
営業利益	1,152	870	588	67.7	51.1
経常利益	1,344	1,050	1,071	102.0	79.6
四半期純利益	768	690	789	114.4	102.6

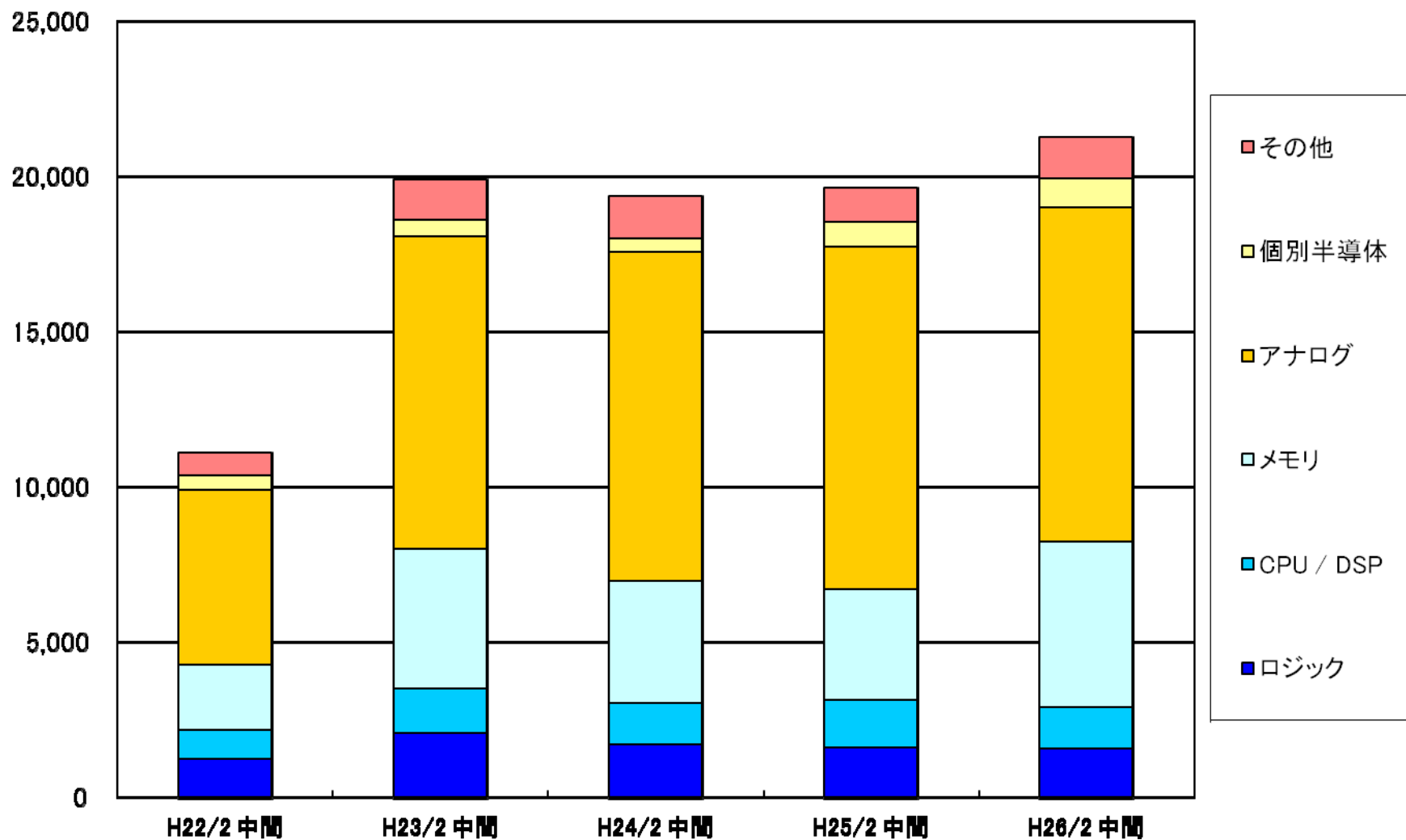


連結主要指標の状況

		平成25/2 2Q累計	平成26/2 2Q累計
総資産	(百万円)	32,319	35,474
純資産	(百万円)	21,589	22,726
四半期純利益	(百万円)	838	898
1株当たり純資産額	(円)	1,506.97	1,620.03
1株当たり四半期純利益	(円)	58.62	64.22
自己資本比率	(%)	66.7	64.0
自己資本利益率(ROE)	(%)	3.9	4.0
営業活動によるキャッシュフロー	(百万円)	513	621
投資活動によるキャッシュフロー	(百万円)	△880	△354
財務活動によるキャッシュフロー	(百万円)	△1,838	△1,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	(百万円)	9,858	11,914
従業員数	(名)	396	406

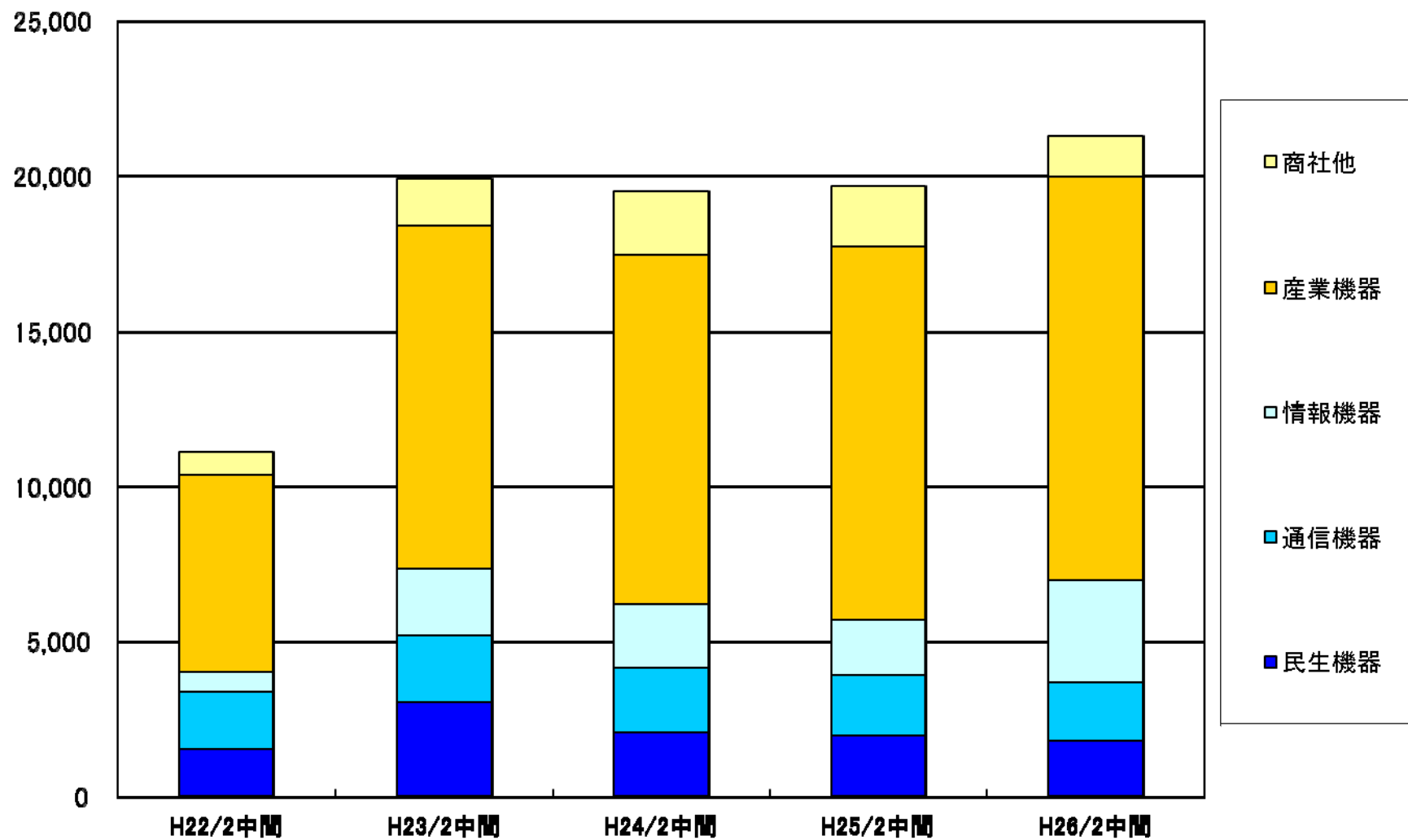
品目別売上高（単体）

百万円



用途別売上高（単体）

百万円



主な用途先と仕入先メーカー（単体）

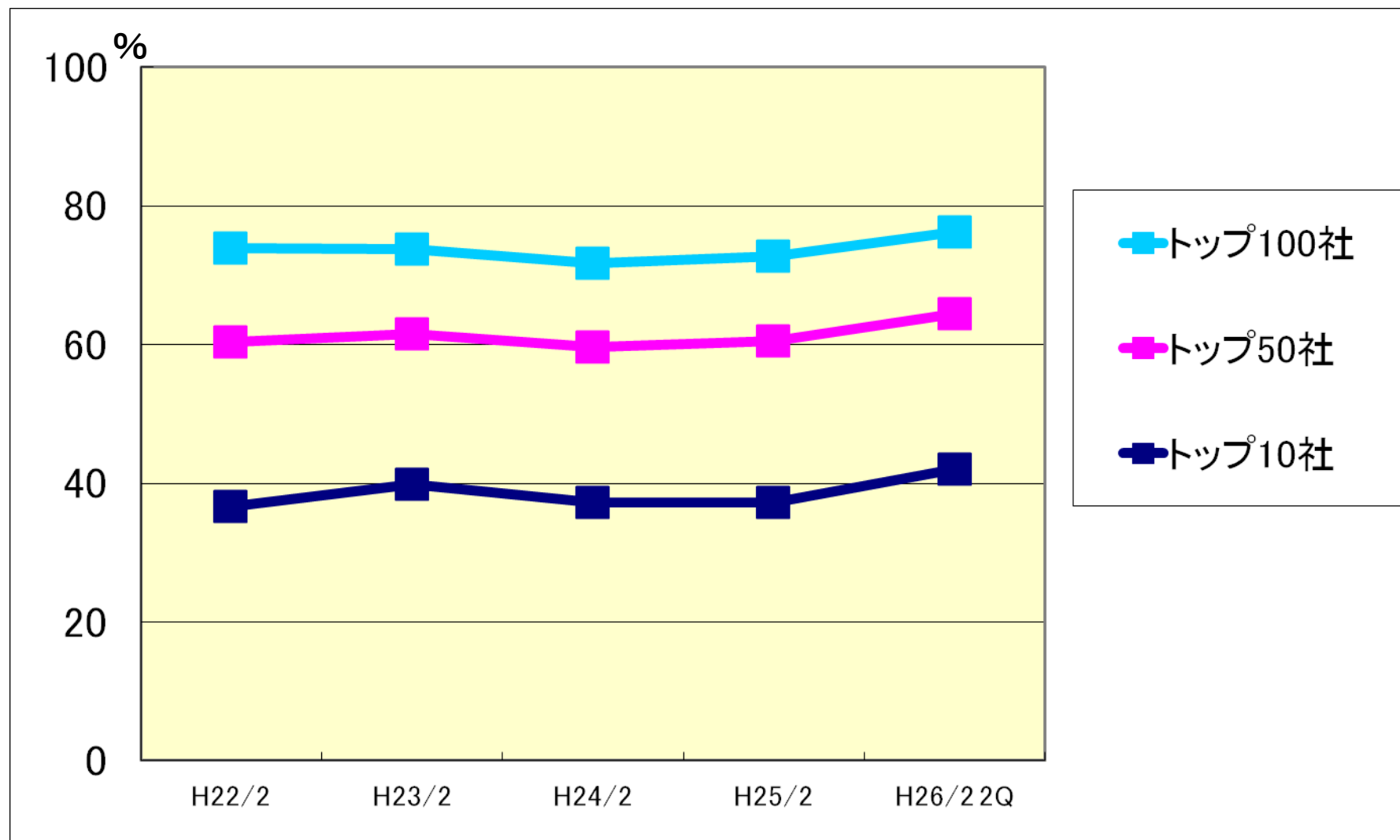
主な用途先

民生機器	カーナビ、エアコン、ホームオーディオ、電子楽器等
通信機器	携帯電話および基地局、次世代ネットワーク等
情報機器	PCおよび周辺機器、サーバー等
産業機器	FA機器等製造装置、半導体製造装置、計測器、事務機器、医療機器、 モーター制御、電源装置、宇宙・防衛関係、アミューズメント等

主な仕入先

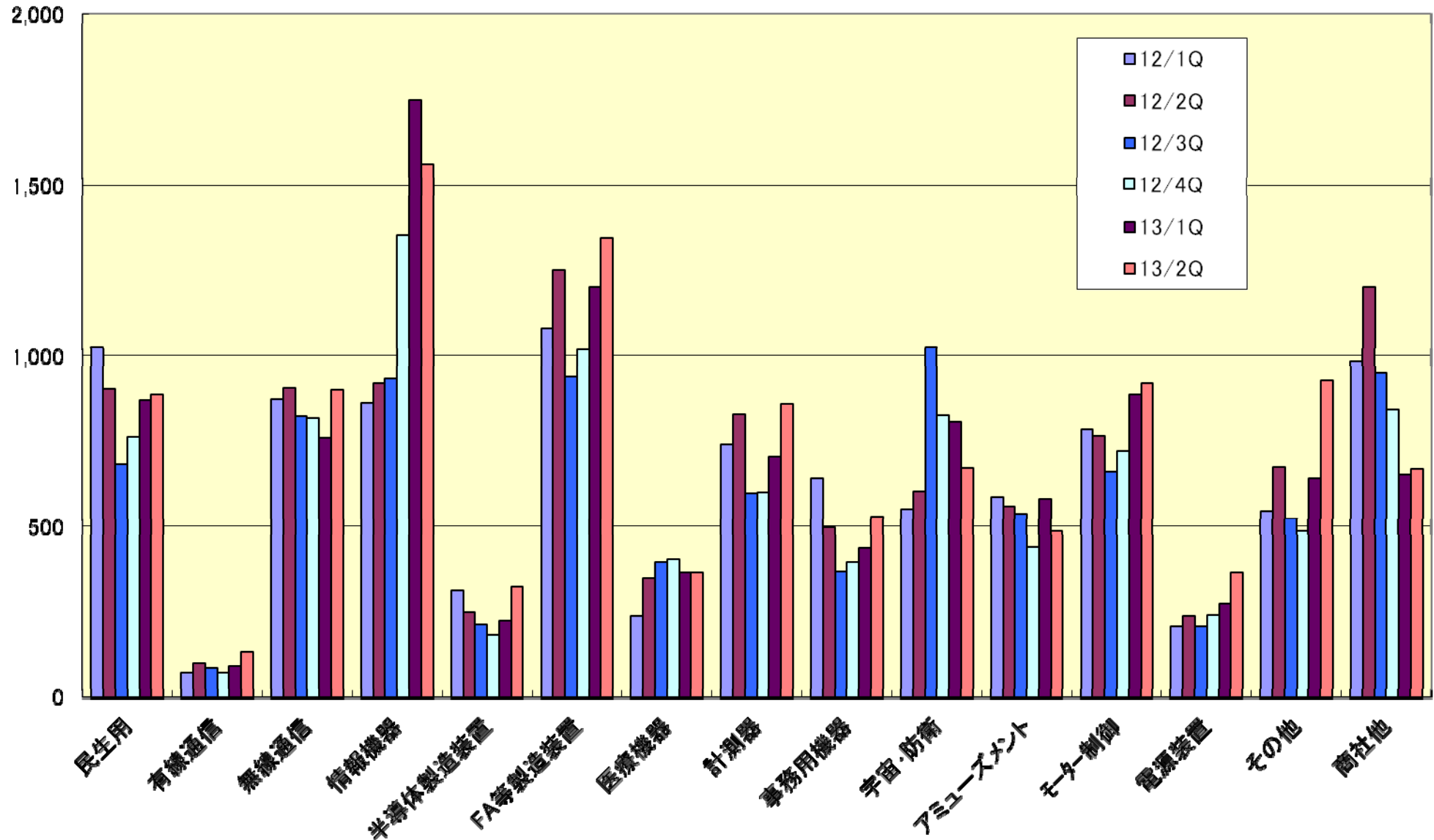
個別半導体	オンセミコンダクタ、フェアチャイルドセミコンダクタ、アバゴテクノロジー、 クレー、インフィニオン、
アナログIC	テキサスインスツルメンツ、アナログデバイセズ、
メモリIC	マイクロン、オンセミコンダクタ、サイプレス、
ロジックIC	テキサスインスツルメンツ、サイプレス、ラティスセミコンダクタ、 オンセミコンダクタ、ステップテクニカ、川崎マイクロエレクトロニクス
CPU/DSP	テキサスインスツルメンツ、アナログデバイセズ、

客先別売上比率（単体）

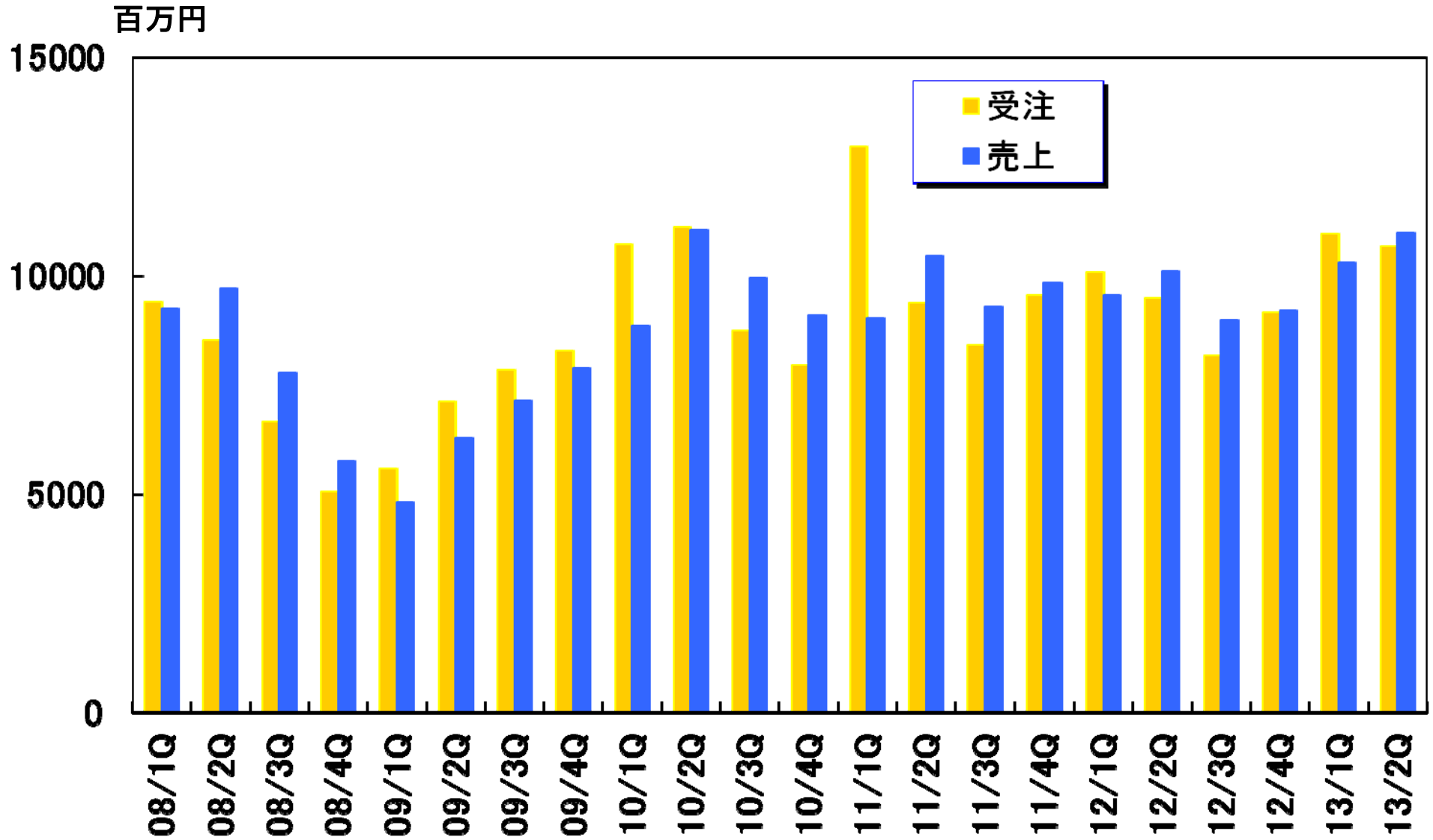


用途別売上高の四半期推移(単体)

単位:百万円



受注・売上額の四半期推移(単体)



受注・売上の四半期推移(単体)

		百万円	前年同期比(%)	直前四半期比(%)
受 注	2011/3Q	8,417	96.3	89.7
	4Q	9,553	120.2	113.5
	2012/1Q	10,083	77.8	105.5
	2Q	9,476	101.0	94.0
	3Q	8,162	97.0	86.1
	4Q	9,145	95.7	112.0
	2013/1Q	10,954	108.6	119.8
	2Q	10,661	112.5	97.3
売 上	2011/3Q	9,284	93.3	88.8
	4Q	9,844	108.2	106.0
	2012/1Q	9,557	105.9	97.1
	2Q	10,092	96.5	105.6
	3Q	8,991	96.8	89.1
	4Q	9,200	93.5	102.3
	2013/1Q	10,290	107.7	111.8
	2Q	10,984	108.8	106.7

平成26年2月期第2四半期(累計)のまとめ

1. 昨年末からの円安・株高の進行に伴う企業収益の改善に加え、企業の設備投資の底打ち確認、輸出も海外景気の持ち直しを受けて回復するなど、景気は回復基調と
思われます。
半導体業界は、自動車向けやスマートフォン、タブレットなどが好調でした。また産業
機器向けも昨年に比べて増加傾向であり、全体的に順調な推移となりました。
2. こうした中、当社グループの上期業績は、売上高は計画を上回り順調な推移でしたが、
急激な円安による利益率低下により、営業利益では計画を下回りましたが、経常利益は
為替ヘッジによる差益の計上によりほぼ計画通り、純利益は有価証券売却益により
計画を上回りました。このため9月25日に第2四半期累計のみ修正発表をいたしました。

連結子会社は、アジア地区で上海が商流入替えによりやや苦戦しましたが、アジアの
その他各社、米国及び国内各社は順調な推移で、子会社全体では増収増益となりました。
3. 単体の分野別では、メモリ大口先である情報機器向けが好調に推移しました。FA製造
装置・計測器など主力の産機市場向けは、最近の商流獲得の効果や、客先の業況改善
などにより、前年を上回りました。
一方、民生機器や事務用機器、アミューズメント向けでは前年を下回りました。

平成26年2月期 下期目標

通期、増収・増益の達成

- ・増収基調の継続による利益額の増加
- ・円安による利益率低下の改善徹底

平成26年2月期 下期重点課題

- [1] 主要仕入先との連携強化による拡販
- [2] 車載市場の戦略的開拓
- [3] パワー半導体の本格拡販
- [4] アジア地区営業拡大戦略の強化・実行

通期予想に関して

第2四半期予想の修正(2013. 9. 25付)

- ・売上高が好調のため上方修正、一方営業利益は急激な円安に伴う粗利率低下等により下方修正
- ・経常利益は概ね予想通り、純利益は上方修正

通期予想

- ・下期は、増収基調の継続を見込み、一方粗利率の改善を図ってまいります。現時点では不確定な要素もあり、変更せず。

平成26年2月期 上期実績・通期予想（連結）

単位：百万円

	上期 実績①	下期 期初予想②	通期 期初予想	通期 ①+②	通期	
					期初予想 比	前年比
売上高	22,535	21,900	42,000	44,435	105.8	109.6
粗利率	15.4	19.0	18.8	17.1		
営業利益	719	1,520	2,600	2,239	86.1	105.8
経常利益	1,214	1,680	2,920	2,894	99.1	105.0
当期純利益	898	1,010	1,810	1,908	105.4	112.9

平成26年2月期 上期実績・通期予想（単体）

単位：百万円

	上期	下期	通期	通期		
	実績①	期初予想②	期初予想	①+②	期初予想比	前年比
売上高	21,274	20,400	39,000	41,674	106.9	110.1
粗利率	13.8	17.2	17.0	15.5		
営業利益	588	1,260	2,130	1,848	86.8	103.8
経常利益	1,071	1,580	2,630	2,651	100.8	101.6
当期純利益	789	990	1,680	1,779	105.9	99.6

WSTS(世界半導体市場統計)市場予測

伸び率:%

市場	予測	11年	12年	13年	14年	15年
日本 (円)	12/11月	△16.3	△2.7	2.7	4.4	
	13/6月		△4.2	△0.3	3.9	2.2
世界 (\$)	12/11月	0.4	△3.2	4.5	5.2	
	13/6月		△2.7	2.1	5.1	3.8
野村證券	13/5月		△3.9	5.8	5.1	

最近のトピックス

経常利益率、引き続きトップクラス

2010年		2011年		2012年	
チップワンストップ°	13.0	富士エレ	7.5	富士エレ	6.8
富士エレ	8.3	イノテック	6.7	高千穂交易	5.5
イノテック	5.9	高千穂交易	5.0	イノテック	4.5
高千穂交易	5.0	伯東	3.6	立花エレテック	3.3
伯東	3.6	マクニカ	3.5	伯東	3.1

(半導体総研月報2013年7月号)